

「現在のコスタリカで制服を着ている最も強い者は…子どもたちです(笑)」ラウラ・エスキベル コスタリカ駐日大使

コスタリカの奇跡

1948年に軍隊を廃止した中米の国。
軍事予算を教育・医療・環境問題に使う国。
世界に平和のロールモデルを突きつける国。
「地球幸福度指数」第1位の国。

おまけに、世界で唯一のナマケモノの保護施設がある国

コスタリカの奇跡を(どうしたら?)日本にも!



所沢上映会 9月9日(日)

10:00 / 14:00 の2回上映 (開場は開始 30 分前)

場所: 所沢市 小手指公民館分館 (ホール)

チケット: 一般 1,000 円 / 大学・高校・中学生 500 円 / 小学生 無料 (前売り・事前予約)

*保育あり (1週間前までに要予約)

お問い合わせ: ☎090-8893-0479 (谷村) ☎090-9140-6118 (西村)

✉knack7979@gmail.com (西村)

主催: 所沢市民が手をつなく会 (代表: 岡本)

後援: 所沢市

協賛: 守ろう憲法オール所沢連絡会・9条連絡会・所沢母親大会実行委員会・所沢平和委員会

監督: マシュー・エディー、マイケル・ドレリング 製作: ソウル・フォース・メディア 出演: ホセ・フィゲレス・フェレル (元コスタリカ大統領)、オスカル・アリアス・サンチェス (ノーベル平和賞)、クリスティアーナ・フィゲレス (国連気候変動枠組条約 前事務局長) 他 アメリカ・コスタリカ / 2016年 / 90分 配給: ユナイテッドビーブル



日本にも奇跡を!



「改憲をめぐる自衛隊の存在が論じられている今こそ、70年前に軍隊を解体したコスタリカの画期的な取り組みから学ぶべきことが大いにあります。日本の全国民にぜひ見てほしい貴重なドキュメンタリーです」
——ピーター・バラカン (ブロードキャスター)
「不幸にも、サビエンスによる地球支配はこれまで、私たちが誇れるようなものをほとんど生み出していない。私たちは環境を征服し、食物の生産量を増やし、都市を築き、帝国を打ち立て、広大な交易ネットワークを作り上げた。だが、世の中の苦しみの量を減らしただろうか? 人間の力は再三にわたって大幅に増したが、個々のサビエンスの幸福は必ずしも増進しなかったし、他の動物たちにはたいてい甚大な災禍を招いた」
——ユヴァル・ノア・ハラリ『サビエンス全史 文明の構造と人類の幸福』

日本の2018年度の軍事費(防衛予算)は5兆1,911億円。
6年連続の増額で、4年連続で過去最高を更新しています。

第2次安倍政権の負の勲章ですね(笑)。

日本のGDPはざっくり550兆円(新基準によって上乘せされている!)

GDPの1%以内という暗黙の圧力は効いていますが(550兆円の1%=5.5兆円)、
1%枠より注視すべきことは、

「私たちみんなのおカネ(税金)が元になった国家予算は98兆円、
5兆1,911億円は、国家予算の5%以上に当たる」という事実です。

(ちなみに所沢市の予算は約1000億円、うち約500億円が市民からの税金です)

私たちのおカネの5%が軍事に使われているのです。

もし戦後憲法のタガが外れたら、
軍事費はGDPの1%以内という暗黙の圧力もなくなるでしょう。

ひるがえってコスタリカ。

1948年に軍隊を廃止し、軍事予算をゼロにし、

国家予算(私たちの税金!)を、無料の教育・医療、環境問題に振り分ける

努力をつづけてきました。識字率は中南米屈指の97.8%です!

コスタリカは「日本国憲法」が掲げた非軍事による平和主義を70年前から実践してきた国なのです。

その結果、地球の健全化や人々の幸福度を測る指標

「地球幸福度指数」(Friend of Earthによる)の2016年度のランキングで140カ国中世界1位に輝きました。

コスタリカでは、大統領も国会議員も任期は4年で再任はできず、

続けたければ4年待ってまた立候補しなければなりません。

このドキュメンタリー映画を、政治家の都合で参議院議員の定数を6も増やす政権与党の人たちは
冷静に観ることができないでしょうね、きっと。

(それにしてもなぜ私たちはこのような政治家たちを当選させてしまうのでしょうか)

中米の小さな国と、東アジアのGDP世界3位の国を単純に比較することはできません。

(成熟した21世紀に、GDP世界3位は自慢できることなのでしょうか)

ただ、日本国憲法が施行されたのは1947年。

コスタリカで常備軍の廃止を明記した憲法が施行されたのは1949年。

世界中を巻き込んだ、2つの悲惨な世界大戦に、

人類がもう戦争はたくさんだと思ったことが、

この2つの「平和を希求する憲法」を生み出す深い動機になっていることはまちがいありません。

(第1次世界大戦の全死者数3700万人、第2次世界大戦の全死者数5000万~8000万人)

コスタリカは先日行われた2018 FIFAワールドカップでも

あわやサッカー大国ブラジルに引き分け寸前! やっぱ奇跡の国なんですね。

しかし平和が奇跡でしかないことは人類の欠陥ではないでしょうか。

日本の平和はたまたまツイテイルだけです。

(経済格差、希望格差によって分断が進む日本は、平和なんですか?)

世界の平和がなければ、真の平和などどこにもありません。

コスタリカから受け取る未知のヒントがあれば、目からウロコが落ちることもあります。

新しい公共、新しい世界の平和を考えなければならない時代に、
(市民の力によって)日本にも奇跡を!

コスタリカ共和国

中米南部に位置する国。面積は5万1,000km²で、日本の四国と九州を合わせた程度。現在の人口は490万人。70年前の1948年、革命軍を率いて内戦に勝利したホセ・フィゲレス(後に大統領に就任)が軍隊を廃止。49年施行の憲法に常備軍の廃止(12条)が明記された。

東京新聞 2018.5.6

